



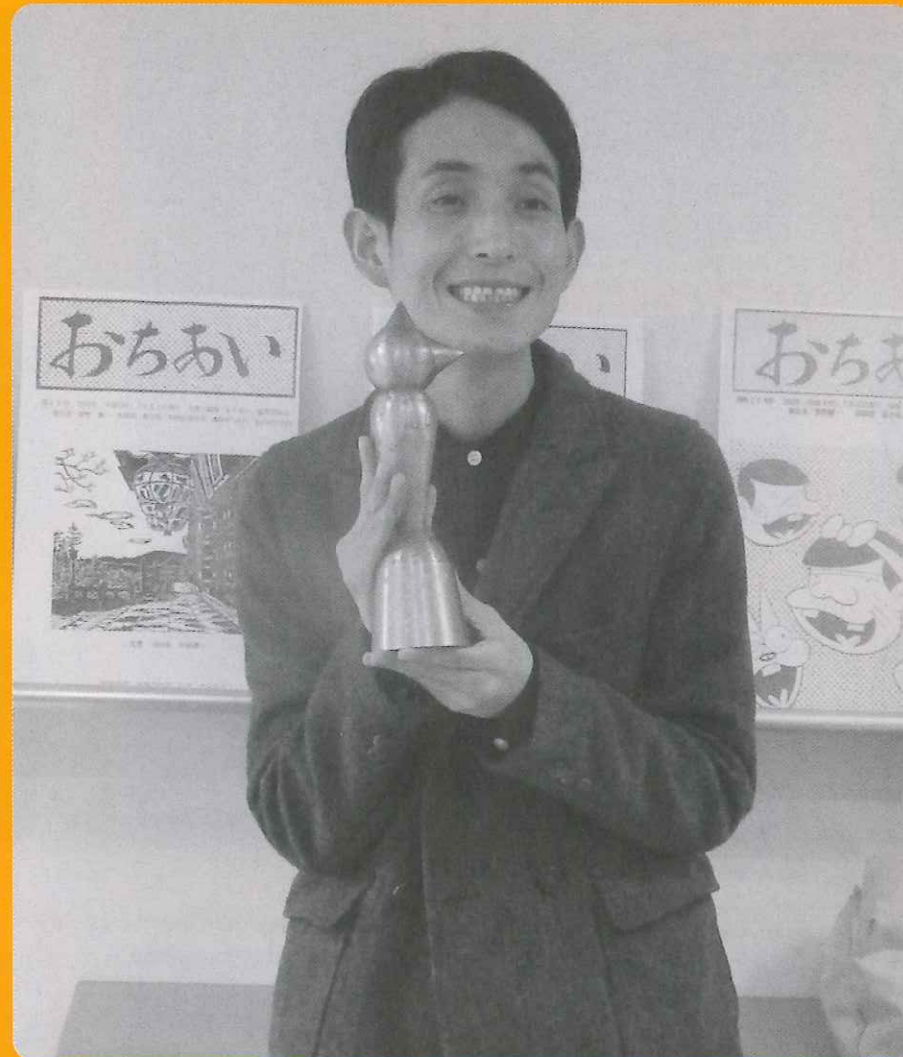
平成30年12月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

新春

第143号

おちあい

責任者 坂田 英夫 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310



『大家さんと僕』の作者・矢部太郎さん（受賞トロフィーを手に）関連記事P.4



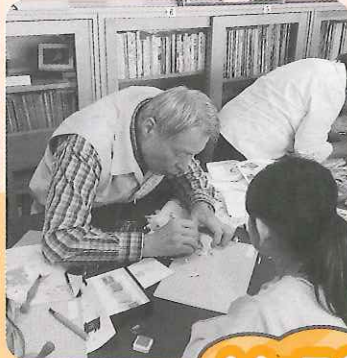
落二中開校70周年記念式典



落六小開校60周年記念式典

版画の落合

前号で紹介した岩崎浩三さんが
子どもたちに版画の手ほどきをしました。



版画（ゴム版のスタンプ作り）
コミュニティ「おちあいあれこれ」

体験 コーナー



絵手紙展示&体験
新婦人新宿支部けやき班 絵手紙



キャンディートレイ
スリック



紙コップの着せ替え人形作り
シルバー人材センター落合第二地区班



手芸（携帯用ビニール袋入れ）
新宿区更生保護女性会



ロープワークと飾り結び体験
ボーイスカウト新宿1団

★落合第二地域センター行事

新春日本の遊び

平成31年1月12日（土）

午後1時～3時半

（受付は午後1時より）

落合第二地域センター

2階・3階

●羽子版・引きゴマ・お手
玉・福笑い・かるた（百
人一首含む）

※温かいお汁粉のご用意もあ
ります。

●作って遊ぼう

「羽子板絵付け」

「引きゴマ絵付け」

参加無料



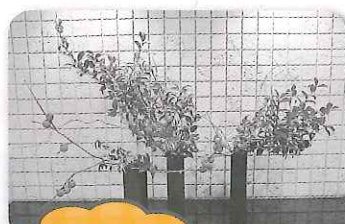
★十月イベント

カラオケを楽しむ会

10月6日（土）午後2
時～4時半、3階多目的ホ
ールにて、24名が参加し
て開催されました。歌い手
によって歌のイメージが変
わったり、味わいが出たり
するのが感じられました。
「楽しむ会」を楽しむパフ
ォーマンスが今回も飛び出
しました。



戸塚警察署ふれあい連絡協議会



第12回

落合第二地域

模擬店



手作り手芸品
けやき荘レクの会



ポップコーン
中落合三丁目辻町会



フランクフルト
上落合三丁目町会



くじ引き
西落合町会



駄菓子
落合第二地区青少年育成委員会



射的ゲーム
西落合町会



コロッケパンなど
落合第二地区青少年育成委員会



焼きそば
落合第二地区 青少年育成委員会



西落合クラブ



新宿区吹奏楽団



デューク・グリーン・サウンド



センターまつり

ステージ 部門

10月28日（日）開催

例年より半月早い秋晴れの下、午前10時
～午後3時半、地域センター全館において開催
され、1,500人余の来場者がありました。



いずみコーラス



フラサークル「ホロホロ」



落合吟友会



プチ・バレリーヌ



大道塾新宿西同好会



西落合太極拳 富鳴



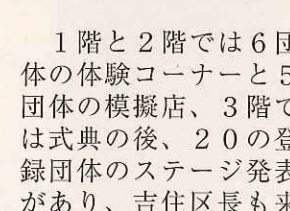
指笛ゴールデンウイスラズ



西落合同友会



葛ヶ谷クラブ



1階と2階では6団
体の体験コーナーと5
団体の模擬店、3階で
は式典の後、20の登
録団体のステージ発表
があり、吉住区長も来
場されました。



ママサークル ピカケ



フラサークル レファ



お気楽長屋in落合



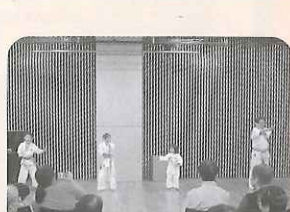
吉住区長



スマレ会



キラキラフラガールズ



峰丈流護身武道を学ぶ会



ハミングMom



太極拳研究会 富鳴

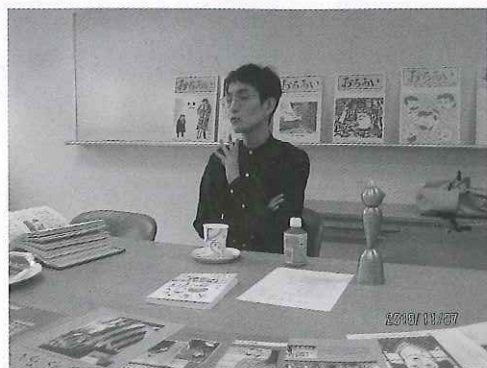
『大家さんと僕』で手塚治虫賞を受賞 矢部太郎さん

矢部さんは落合の大家さんの二階に十一年間住み、大家さんとの交流をエッセー漫画『大家さんと僕』で描き、第二十二回手塚治虫文化賞短編賞を受賞しました。この作品は実話に基づいたフィクションですが、本職の漫画家以外では初の受賞です。

大家さんは落合に生まれてから、戦争を挟んで今に至るまでの地域と人間にまつわる記憶を親しい方には常に自分の言葉で話します。そのエピソードは矢部さんの漫画の中でも紹介され、朝日新聞のコラムにも載りました。

矢部さんは一九七七年東村山市生まれの四十一歳。父は絵本作家の、やべみつのりさん。高校時代のクラスメイトとお笑いコンビ「カラテカ」を結成し、現在はテレビ、ラジオ、劇場で活躍中です。そんな矢部さんが「おちあい」のために話してくれました。

「中井、落合には十三年ほど住んでいます。お店に入ると、赤塚不二夫先生の直筆色紙があったり



地域センター会議室にて（11月7日）

して良い所だなと思えました。実家のある西武線沿線という事で親しみがあ



矢部太郎『大家さんと僕』（新潮社刊）

一歳年下の手塚治虫先生は戦中派の戦中派の大家さんと知り合

動産屋さんの紹介で大家さんの二階に住むようになったのですが、仕事の話をしなくてもいい友達として、食事やお茶を一緒にするなどの付き合いをしていました。

大家さんと京王プラザホテルの中華レストランで食事をした後に喫茶店でお茶をしていたら、昔からの知り合いの漫画家にたまたま出会い、その時に『大家さん』のエピソードを漫画にしてみたいと勧められたのがきっかけで漫画を描くようになった。

大家さんは大変な読書家で、菊池寛の旧版名づかい表記の全集をいたいたこともあります。独特の視点で自分の考えや意見をしっかりと話す人。作家の名前や歴史、地域のことなど、僕が知らないことをたくさん教えてもらいました。

そんな大家さんのことを一冊の本にしたいという気持ちで強くありましたので、描く前にテーマを決め、脚本の学び方などの本で勉強し、漫画の構成を考えました。大家さんは「ボケ」、僕は「ツッコミ」の役割にしました。小さい時から絵を描くのは好きだったので、月刊誌に連載されるようになったのは嬉しかったです。この連載が『大家さんと僕』として昨年十月に出版されました。



『大家さんと僕』©矢部太郎

ないおしゃべりやエピソードをこれからテーマにして描いていければと思います。」

編集部追記

執筆した高阪さんは古くから大家さんと懇意にしていた。その関係

で、旧居を解体し新築工事をする間の約三カ月を大家さんの二階に仮住まいした。その部屋に矢部さんが住んだという縁がある。

自転車で颯爽と地域センターに現れた矢部さんは二階の「まちの資料コーナー」にも興味を持たれたようだ。

大家さんは今年八月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

（広報部長 小野田 正治）

坂るた

十一月十一日（日）中井で、早大人間環境学科による「坂るた」のワークショップが行われました。日本建築学会の「子どものまち・いえ・ワークショップ提案コンペ」で最優秀に選ばれた企画で、街歩きとかわる遊びを通して地域への愛着を促すもの。表情の違う坂が集まった中井周辺は「坂るた」遊びにふさわしい場所です。当日はたくさんの子供達が遊んでいました。



◆精説 落合の由来

神田川と妙正寺川が合流している所を落合と云います。この名は江戸時代以前からあった村の名前、あるいは土地の人が呼んでいた地名であると伝えられています。異論もありです。

江戸時代の地誌「江戸名所図会」の「落合土橋」の項には「同所（南西）の方、上落合より下落合へ行く道に架す。土人いふ、田島橋より一町ばかり上に玉川の流れて井頭の池の下流と合流するところあり。このゆゑに落合の名ありといへり。

按ずるに、北条家の「所領役帳」に、興津加賀守および太田新六郎（太田康資 一五一六～一五六）所領のうちに江戸落合の名を加へ、「長野弥六郎分、また鈴木分の地を領す」とあり。神田の上水およびこの水道へ玉川の上水を助水とせられしは、もつとも後世にしてやうやく承応（一六五二～一六五五）以来のことなり。しかるときは落合の名の発ると



ころ、この両つの上水落ち合ふの義にとるは附合（こじつけ）なりと知るべし……と書かれています。この文章を要約しますと「二つの川が完成し合流する以前に落合の名が使われているので、地元の人々の言い伝えはこじつけである。」と主張していますが、二つの川が自然流として既に存在しそれを江戸時代に改修したとすれば土地の人の言い伝えも正しい事になります。それを古地図で調べてみます。

添付の図は「古板江戸図集成第一巻」の西側を判り易く書き直されたものですが二つの川が落合村で合流しています。描かれている城は太田道灌が建てたものでこの図がその時に描かれたのであるならば長禄年間（一四五七～一四六〇）の図ですが、添え書きには文化七年（一八一〇）庚午五月五日とありこの絵が描かれたのは神田上水の竣工（寛政六年（一六二九）より後のこと）になります。しかし、この原因が文化七年に校合されたのであれば長禄年間に二つの川が既に合流していた事になります。この点は明確ではありません。

「江戸名所図会」より少し

あとに書かれた「新編武蔵風土記稿」巻之十二 豊島郡之四の「上落合村」の項には「上落合村は日本橋より二里餘の行程なり、村名は神田上水の溝渠と井草川と當所にて落合し故かく名付と云、『小田原役帳』に、興津加賀守地行二十貫五百七十七文江戸落合、及太田新六郎地行内寄子衆配當十貫五百文江戸落合鈴木分長野彌六郎分とあり、是も拠は上水開けさる前既に井ノ頭より流出せる川ありしとみ

ゆ。」とあり、最後の所に神田上水が開削される前に自然流があったと書かれています。

見方を変えて二つの川の合流点を地形図を参考として見てみます。東京の西側は青梅を起点とした多摩川の扇状地と段丘で出来ています。勾配は凡そ距離五〇キロメートル高低差一八〇メートルですから、一〇メートルで三・六センチ低くなる随分緩い傾斜です。西から狭山丘陵、武蔵野段丘と続き豊島台と淀橋台との間に湧水と雨水で出来た池から流れ出る神田川（水源井之頭池）、妙正寺川（水源妙正寺池）があり、その他にも善福寺川（水源善福寺池）、桃園川（水源天沼弁天池、現在は緑道）があります。この辺りは古くから幾つかの自然の流れがあった所です。現在、神田川と妙正寺川の合流点は高田橋（新宿区高田馬場二一五）の所で昭和五十八年（一九八三）に滝沢橋（新宿区下落合一十二）の所にあったものを移転したのです。滝沢橋は西武新宿線「下落合駅」の近くでその傍に「せせらぎの里」公園があります。公園から周りを見回すとこの辺りは二つの川の氾濫原であったことを思い浮かべさせてくれます。

古文書、古地図、地形図、現在の地形を見ても「落合は二つの川の合流点から出来た地名なのです。」

（西落合在住 立脇 清）

（参考）

- ①「江戸名所図会」（作者 齊藤月岑 作成日天保十一年（一八四〇））
- ②「古板江戸図集成第一巻」（作者不明 作成日不明）
- ③「新編武蔵風土記稿」巻之十二 豊島郡之四（作者 昌平坂学問所地誌調査 作成日 文政十三年（一八三〇））
- ④「東京自然史」（著者 貝塚英平 出版 平成二十四年（二〇一三））

落合第三小

日光移動教室

十月一日（月）～十月三日（水）の二泊三日で日光移動教室に行ってきました。出発の日は、台風が心配されたのですが、三日間とも気持ちの良い秋晴れとなりました。朝晩の気温は低く、東京都と違う奥日光の気候を肌で感じながら、貴重な体験をすることができました。

一日目は、大谷資料館に行きました。大谷石を切り出していた採掘跡を見学し、地下空間の音の響きや光が差し込む神秘的な光景を体験することができました。二日目は、戦場ヶ原のハイキングをしました。ガイドさんの話を聞きながら、植物や動物、昆虫に触れ、雄大な自然を感じることができました。また、台風の影響で普段流れている水量の五十五倍の水量が流れていた華厳の滝は圧巻でした。展望台まで雨のように降り注ぐ水しぶきは、子どもたちの記憶に残るものとなりました。

そして、三日目は、東照宮見学です。子どもたちは、徳川家について学んでいたので、興味津々でした。実際に見る陽明門や三猿、響き渡る鳴き竜の音に大満足でした。

この三日間を通して友達との絆を深め、集団で生活するために大切なことを学び、子どもたちは大きく成長しました。



大谷資料館



大谷資料館

残り半年となった小学校生活においても、この経験を胸に更に充実した時間を過ごしてほしいと思います。

六年生担任

三浦 茂樹
佐藤 和貴



華厳の滝



東照宮見学



戦場ヶ原ハイキング

落合第五小

初めての落五小学芸会

十一月二日（金）～十一月三日（土）、三年に一度の学芸会が終わりました。たくさん保護者や地域の皆様にご鑑賞していただきました。ありがとうございました。

私にとっては、落五小初の学芸会でした。単学級の中、担任一人であれもこれも大丈夫だろうかと思っていました。担任と専科や補助の教員のバイタリテイと連携と機動力に、子供たちに最高の達成感を味わわせたいという思いが伝わってきました。

それにも増して、練習に取り組み子供たちの目の輝きと真剣な姿に圧倒され、日々完成度を高めようとする姿勢に、毎日感動していました。

「180人みんなが主役！心を一つに全力表現 夢をどけよう」のローガン通り、一人一人が輝く、心が一つになった学芸会でした。どの学年の演技にも目頭が熱くなりました。子供たちに「夢をありがとう」と伝えたい気持ちでいっぱいになった二日間でした。

校長 古賀 靖真



1年生 劇「おぼけじぞう」



3年生 劇「どろぼう学校」



5年生 劇「魔法をすてたマジヨリン」



2年生 劇「スイミー」



4年生 劇「狐狗狸江戸奇談（こっくりえどきだん）」



6年生 劇「夢から醒めた夢」

落合第六小

開校六十周年を迎えて

落合第六小学校は今年で開校六十周年を迎えます。

十月六日（土）に開校六十周年記念行事を実施しました。朝の児童集会を始め、十時からは沢山のお客様をお招きした記念式典を行いました。スクリーンの映像を前に子どもたちは、本校への思いを歌と呼び掛けに込めました。加えて、三年生以上の有志の子どもたちが演じた「おちろくタイムスリップ ものがたり」の公演です。午後には記念祝賀会を行いました。ここでも五年生キッズバンド「ドロップシックス」が活躍しました。最後は地域の江戸里神楽萩原彦太郎社中さんに締め括っていただきました。

周年を機に、子どもたちと落合の町がますます発展することを期待します。

副校長 庖刀 由利子



ドロップシックスの演奏



祝いの舞



くさびを入れて巨大な丸太を割っています



トラクターがさまになってます



ナスとオクラを収穫しよう



シャインマスカット食べ放題!!

落合第二中

赤土の心・・・未来へ

平成最後の赤土祭を終えて

十月十九日、鮮やかな紅葉が待ち遠しい佳き日に、多くの

私が七十周年記念赤土祭を終えて気づいたことは二つあります。

緊張感漂う厳かな雰囲気の中、生徒はしっかりとした姿勢で取り組み、学年合唱や校歌を歌いあげました。改めて、生徒の素晴らしい力を再確認するとともに、誇らしい気持ちを一杯に包まれました。会場全体が温かな空気に包まれました。式典を通して、生徒は七十年の積み重ねの意味と、これまでを引き継ぎ、より高いところを目指して発展させていく責任を、正面から真摯に受け止めてくれたであろうことが、その様子から伝わってきました。

一つ目は、目標を達成すると嬉しいということです。私は赤土祭実行委員長として「Make the stage」一人一人が主人公の「スローガンのもと、皆の思いに残る赤土祭にすることを目標にしていました。それは、三年生にとつては最後の赤土祭を卒業した後も記憶に残るものにしたかったからです。もちろん、忘れない良い思い出にしたい。しかし、たくさんの方が「楽しかった」と感じてくれたことを知り、赤土祭は成功だったと思うことができ、とても嬉しく思いました。

二つ目は、頑張ったことは結果がどうであれ自分にとってプラスになるということです。私は合唱コンクールに一番力を入れていました。クラスで協力して金賞をとれたら、きっと私にとって一番の思い出になると思ったからです。一週間前から始まった放課後練習も音楽の授業も、せめて正しい音程で歌えるようにと練習してきました。結果は、金賞をとることができました。

今年度の赤土祭で学んだことをいかし、これからは目標を立て、そのために頑張れるようになりたいと思います。



校長 島田 一宣



赤土祭 合唱コンクール

実行委員長 小関 梨沙



パン食い競争

十月二十一日（日）、落合第二地区コミュニティスポーツ大会が落合第六小学校で開催され、延べ五百人近くの方がスポーツの秋を楽しみました。

★平成三十年度 落合第二地区
コミュニティスポーツ大会
結果報告



ビーチボールバレー

種目	優勝	準優勝	第3位
ビーチボールバレー	中央大会の部 落六ビスケット海	落合ホップスB	落合ホップスA
	地域コミュニティの部 工藤舞が黙ってない	モンテカルロ	F・E・S
輪投げ	60歳以上の部 葛ヶ谷クラブB 最多得点：増田 和子（75点）	中井町会	葛ヶ谷クラブC
	一般の部 元気いっぱい三人組 最多得点：岩井 月那・中谷 匠杜（47点）	AKTファイターズ	トミーズ
ユニカール	ガンバ西落合	カービィ	落六スカッシュ
ポッチャ	皇麦ハイパーBOYS	しんわイーグルス	しんわマスターズ

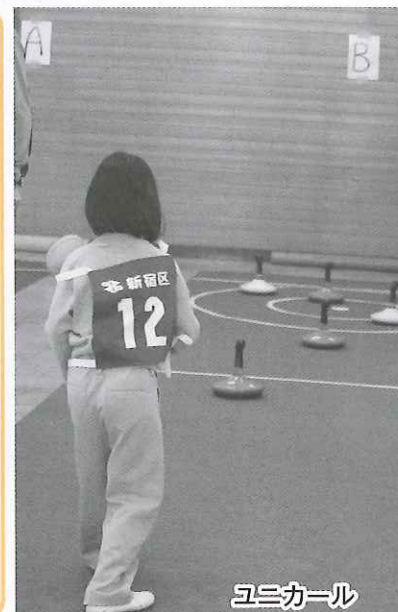


ごみゼロ運動

「コミュニティ誌」おちあい」は全て再生紙を使用しています。

大勢の方に町内を
清掃していただき、
この地区の美しさが
保たれております。

秋のごみゼロ運動
ご協力ありがとうございました。



ユニカール



輪投げ